

事業概要：名鉄知多半田駅前整備による賑わい創出事業

新規

申請者	愛知県半田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,085,285千円 (8,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・駅周辺を、通勤・通学等のために単に通行する場所ではなく、目的を持って訪れる場所、また鉄道利用者にとっての日常的な居場所として、滞在や消費、様々な活動が行われる場となるよう整備を進め、駅前周辺の賑わいを創出し、その相乗効果として、駅周辺への店舗出店や企業投資の促進を図る。 ・駅前周辺に滞留者や事務所を構える企業を増やすことで、駅前周辺の消費力を高め、飲食店等の出店を促進するとともに、魅力的なまちの形成による居住者の増加につなげていく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 令和9年度にインフラ事業及び令和10年度の拠点整備事業として、名鉄知多半田駅東側ロータリーのリニューアルを行い、歩行者が滞留し、消費や活動の拠点となる居場所を整備する。また、令和8年度には、ソフト事業として既存の駅前空間にストリートファニチャー（ベンチやテーブル等の滞留を促す設備）の設置と利用者への周知・交流の取組（オープンハウス企画等）を実施する。これにより、ソフト事業・拠点整備事業・インフラ整備事業を一体的に進めることにより、ハード・ソフトの両面からより魅力的な駅前空間の形成を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・駅前空間活用事業（委託料）4,500千円 駅前でのイベント等の開催時や日常的なストリートファニチャー利用時に合わせて、オープンハウスやフィールドワークを実施する。 ・ストリートファニチャーの設計・製作・設置（委託料）3,500千円 知多半田駅前広場の整備に向けて、ストリートファニチャー（ベンチやテーブル等の滞留を促す備品や設備）の整備を行う。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①半田市の人口（▲1,628人） ②知多半田駅前広場の利用（通行）人口（+582人） ③知多半田駅前広場の滞留人口（15分以上滞在した者）（+248人） ④知多半田駅前広場での活動回数（+24回/年） ⑤知多半田駅前広場のキッチンカー（屋台・露店含む）出店事業者数（+26者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和9年3月までに公表予定 （効果検証） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html